

第3期広島県スポーツ推進計画（素案）に対する意見と対応

※ 「対応」欄中、下線部分について、計画の記載を修正する。

1 意見の件数

7件（3人）

提出方法 電子メール1人、ファックス2人

2 県民意見募集（パブリックコメント）における意見と対応

【政策目標 I（誰もがスポーツを楽しむことができる社会の実現）関連】

2 スポーツが身近にある環境の創出（1）スポーツを楽しむ環境づくり

意見の内容	対応	該当頁
(Team WISHについて) 書いてある内容では具体的にどのようなものなのかが分かりにくいため、コンテンツのイメージ画像を追加したり、Instagram や X (旧 Twitter) を活用するとよりわかりやすく伝わると思います。	<u>Team WISH の取組コンテンツ (WISH Match 等) について、イメージ画像を計画に掲載する。</u> また、情報発信については、SNS など、様々な情報媒体等を活用し、ターゲット毎に、伝わりやすい広報に努める。	18、19 頁

4 アーバンスポーツの推進

意見の内容	対応	該当頁
アーバンスポーツの推進についての課題や取組が本当に合っているのか。イベントを誘致するのが推進になるのか。まちなかでスケートや 3x3 など出来る環境を整えてあげることが推進になるのでは。連携してなど、行政目線の計画ではなく実際にスポーツを行う人の目線に立って計画作成をするべきでは。	若者を中心に高い集客力があるアーバンスポーツの大会誘致は、スポーツの枠を超えて、観光、地域の活性化にもつながるものと認識している。 また、環境の整備については、県内市町においてアーバンスポーツ施設の整備を進めており、県も、びんご運動公園において、公園の機能強化の方向性の1つとして、アーバンスポーツなど、「新たなスポーツ機能の強化」を掲げている。 加えて、アーバンスポーツにおいては、中央競技団体 (NF) と連携・協力した取組を進めており、引き続き、競技普及に取り組む競技団体の御意見を踏まえながら、広島がアーバンスポーツの聖地となるよう取り組んでいく。	25 頁

【政策目標Ⅱ（スポーツを通じた地域・経済の活性化）関連】

2 スポーツの成長産業化（2）スポーツを活用したオープン・イノベーション

意見の内容	対応	該当頁
「WISH Match」のCMや広告を見たことがない人が多いので、世代別に宣伝する方法を変えたいと思う。	Team WISHの情報発信については、ターゲット毎に、情報媒体・配信時間などを検討し、伝わりやすい広報に努める。	29、30 頁

2 スポーツの成長産業化（3）スタジアム・アリーナを中心とする新たな賑わいの創出

意見の内容	対応	該当頁
グリーンアリーナの近くにスタジアムが建設されたことにより、周辺のお店のさらなる活性化が見込める一方で、ライブが行われることもあるグリーンアリーナが近くにあるため、公共交通機関や周辺地域の混雑が深刻化する可能性があります。	施設利用者の安全確保は重要だと考えており、広島グリーンアリーナでは、施設管理者が大会やイベントの主催者に安全対策を講じるよう伝えている。 また、広島サッカースタジアムの設置者である広島市から、サンフレッチェ広島の試合開催日の混雑対策として、来場者に公共交通機関の利用を呼び掛けるとともに、各公共交通機関において利用駅の分散を促す等の対応を行う旨を確認しており、いただいた御意見については、広島サッカースタジアムの設置者である広島市に伝えている。	30 頁
新スタジアムが設立するに当たって、騒音被害が出るかもしれないというデメリットが挙げられました。これを改善するために防音対策や警備の強化が有効だと考えました。	広島サッカースタジアムの設置者である広島市から、防音対策や警備強化については、サンフレッチェ広島が、近隣の住民に配慮し、試合開催時の応援の太鼓や拡声器の数を制限するとともに、スタジアム周辺に警備員の配置や啓発看板の設置などの対策を実施する旨を確認しており、いただいた御意見については、広島サッカースタジアムの設置者である広島市に伝えている。	30 頁

【政策目標Ⅲ（競技力の向上）関連】

1 子供たちがスポーツで夢や希望に挑戦できる環境の創出

意見の内容	対応	該当頁
子供向けアニメキャラクターを利用してスポーツに関する動画を作成し、幼児に見せることでスポーツの楽しさを教え、結果的に未来の競技者を育成できると考えます。	幼児期においては、幼児が遊びを通じて、身体を動かすことの楽しさを実感できるよう、幼稚園教諭や保育士等への運動遊び研修の充実を図ることとしている。 施策の推進にあたっては、子供たちが興味・関心を持てるコンテンツも検討していく。	15、33 頁
小学生高学年で様々なスポーツを経験させるのではなく、低学年のうちから経験させることで、自分に向いているスポーツを早くに見つけることができ、より能力を高めていくことができると思います。	スポーツを通じて子供たちが夢や希望に挑戦できるよう、個々の運動能力に沿った運動機会の提供など子供たち一人一人の資質や志向に応じた挑戦の支援に取り組むこととしている。 小学校低学年においても、市町で実施しているスポーツ体験会等と連携し、様々なスポーツ体験機会の創出に努める。	33、37 頁